

被災地・宮城の子どもたちが送った3000枚

サンタへの手紙 悲しみの里帰り

「できる限りのことをしたい」



宮城県の石巻市などから昨秋送られた「サンタさんへの手紙」
—成田空港で17日

宮城県の子どもたちから昨年、サンタクロースの母国フィンランドに送られた「サンタさんへの手紙」のうち3000枚が日本に里帰りし、巡回展が始まっている。東日本大震災で津波被害を受けた自治体からの作品が半数近くを占め、実際に被災した子どもたちの作品も多数ある。

【西浦久雄、写真も】

全国で巡回展

サンタへ手紙を送る市約1万通をはじめ取り組みは「日本・フィンランドサンタクロース協会(静岡市)」が09年にフィンランドの郵政当局と始めた。宮城県からは昨年、仙台

市の約1万通をはじめ石巻市、気仙沼市などから、小学生や幼稚園児らが書いた計約3万2000通が投函され、日本から送られた手紙の約7割を占め

た。昨年12月には、フィンランド政府公認サンタが仙台市を訪れた。3000枚は震災の被災者支援呼びかけのため、フィンランド国内で9月中旬に展示された。プレゼントありがとう「サンタさん大好き」と明るく、カラフ

ルなタッチで描かれたものが目立つ。サンタからは「素晴らしい思い出の場所が災害のニュースとなって私の耳

に届いた。できる限りのことをしたい」との手紙が寄せられ、巡回展で飾られている。手紙は17日まで成田空港に展示された後、19日から東京・大手町

の通信総合博物館で展示されるなど全国を巡回。12月に宮城県入りした際はサンタも駆けつける予定。問い合わせは同協会(054・655・0708)。